

本市のアイデンティティ醸成につながる郷土教育等の推進

課題・背景

- 課題1 加曽利貝塚・千葉氏の一般的な認知度（好意・来訪意向）を高める必要がある。
- 課題2 学校での郷土教育を充実させ、教員の「千葉氏」等への認知度を高める必要がある。
- 課題3 郷土の学習には効果的だとされる博物館への来館者を増やす必要がある。
- 課題4 分かりやすい講座を実施する必要がある。

28年度の取組み

- 方向性1 「千葉氏」「加曽利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上
 - ・加曽利貝塚の総括報告書及び保存活用計画書を刊行し、特別史跡指定について国へ申請（意見具申）
 - ・千葉開府890年記念式典（6月1日）、千葉開府祭（6月4日）の開催
 - ・千葉氏サミット（8月21日親子三代夏祭り同日）の開催、あわせて郷土博物館での企画展の開催
 - ・千葉開府900年となる2026年を目標年次とする「都市アイデンティティ戦略プラン」を策定
- 方向性2 学校教育における郷土教育の充実
 - ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」の小学校低学年での読み聞かせ、中学年以上の読書による活用
 - ・学校便り等による保護者への啓発
 - ・小学校6年生及び中学校1・2年生の社会科における、千葉氏に関する実践事例や千葉市独自の副読本の一層の活用促進
 - ・千葉市立小・中・特別支援学校における「千葉開府の日」についての校内放送による説明（6月1日）
 - ・総合的な学習の時間における郷土教育の単元開発
 - ・中学校3年生の道徳において教材「千葉市に生きる」を活用しての授業の実施
 - ・校外学習や出前授業での博物館等の活用促進
 - ・教員への郷土教育推進に係る研修の実施及び資料の提供
 - ・学校給食「千葉開府890年給食」の実施
- 方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進
 - ・郷土博物館での企画展の開催や市内小中学校への館内解説・体験学習・出前授業を実施
 - ・加曽利貝塚博物館で開館50年縄文まつり、企画展、土器ドキ発掘体験を実施
- 方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充
 - ・縄文フォーラムの開催、加曽利貝塚の一般向けパンフレットの作成
 - ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」の公共機関等での閲覧と販売
 - ・親子三代夏祭りにおけるPR（関係都市の出展、甲冑武者パレード）
 - ・ちば市政だよりなど広報紙での「加曽利貝塚」「千葉氏」の特集記事を掲載

本市のアイデンティティ醸成につながる郷土教育等の推進

29年度の取組内容（28年度に実施した事業に加え、新たに実施するもの）

○方向性1 「千葉氏」「加曾利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上

- ・加曾利貝塚の特別史跡指定を見すえた取組みを実施
（今後の史跡整備に向けた基本計画の策定、新たな発掘調査研究及び見学会の実施）
- ・千葉氏に関する史料整理
- ・千葉氏フォーラムの開催

○方向性2 学校教育における郷土教育の充実

- ・千葉市立小・中・特別支援学校に加え、市立高校2校における「千葉開府の日」についての校内放送による説明（6月1日）
- ・市立高校2校で「千葉氏や鎌倉時代」に関する日本史特別授業を実施
- ・下敷き「ちばしのじまん」の小学校3年生への配付
- ・千葉市の魅力を紹介する絵本の配付（小学校、保育所、幼稚園等）
- ・学校給食「千葉氏ゆかりの都市の郷土料理」の実施

○方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進

- ・鎌倉時代の大鎧を活用した体験学習の実施

○方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充

- ・加曾利貝塚シンポジウムの開催
- ・加曾利貝塚での集客プロモーションの実施
- ・歴史講座や鎌倉騎馬武者体験等の実施



下敷き「ちばしのじまん」

本市のアイデンティティ醸成につながる郷土教育等の推進

これまでの主な取り組み

方向性1) 魅力の掘り起し・魅力向上



千葉開府の日記念式典(6/1)
(500人来場)



千葉開府祭 (6/4)
(1,500人来場)



千葉氏サミット開催に合わせた企画展
⇒ 全国に広がった千葉氏 (6/1-9/30)
⇒ 千葉妙見大縁起の世界 (8/9-12/11)



第1回 千葉氏サミット
全国10自治体を招待した
千葉氏サミット (8/21)
(700人来場)

方向性3) 博物館の充実及び利用促進

郷土博物館

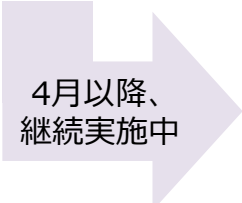
- 市内小中学校への館内解説・体験学習・出前授業を実施
- ⇒ 館内解説は35校、1,871人 (2月末現在)
- ⇒ 体験学習・出前授業は7校、569人 (2月末現在)

加曽利貝塚博物館

- ⇒ 夏休み小学生土器づくり(7/24・31,8/21 : 計17人)
- ⇒ 縄文時代の生活体験 (5/3-5:延べ3,443人、夏休み期間中の土日:延べ3,565人)

方向性2) 郷土教育の充実

マンガの学校教育での活用・保護者への啓発
小中学校の社会科における千葉氏の扱いの充実
郷土教育の単元開発、道徳教材「千葉市に生きる」の活用
博物館等の活用促進、教員への郷土教育推進



各学校長あて文書や校長研修会等での呼びかけ
各教科主任会等での呼びかけ、指導事例の情報収集
指導案・ワークシートの配付
各種研修の実施、研修会での資料配布



マンガを活用した郷土教育「千葉氏」ゆかりの地特別献
授業の実施 (6/1大椎小) 立の実施 (市内全校)



方向性4) 情報発信や講座・イベントの拡充



親子三代夏祭りにおける千葉氏コーナー
全国11都市の出店実施
(当日は365,000人の人出)

マンガ「千葉常胤公ものがたり」
配布(4月)及び販売(6月開始)
(3/13現在で2,782部の販売)

29年度以降の方針・スケジュール

アイデンティティの確立

(千葉開府900年となる平成38(2026)年を目標年次とする)

都市アイデンティティ戦略プラン(P20～)

- 博物館の機能強化や展示・講座等の充実
- 学校教育における郷土教育の充実
- 市民が知る・学べる機会の充実
- 職員研修の充実
- 4つの地域資源の認知を広げるイベントの充実
- 4つの地域資源とのつながりを創るカルチャーの充実

第2次千葉市学校教育推進計画(P40)

- 郷土教育の充実
郷土に誇りと愛着が持てるよう、本市の文化や歴史、伝統についての郷土教育の推進と充実を図る

第5次千葉市生涯学習推進計画(P132)

- 加曽利貝塚の国特別史跡指定
- 文化財の保存・活用の推進
- 郷土の理解を深める講座・事業の充実

都市アイデンティティ戦略プラン
平成28(2016)年～平成38(2026)年

第2次千葉市学校教育推進計画
第5次千葉市生涯学習推進計画
平成28(2016)年～平成33(2021)年